



御狩場小学校で防災キャンプ

8月24日(土)から25日(日)にかけて御狩場小学校で行われた災害時の宿泊体験に、児童と保護者129人が参加しました。



PTAやおやじの会が集めた段ボールを使った「段ボールハウス」を思い思いに作り上げ、体育館で一泊。避難所での生活の大変さを体験しました。狭山消防署の協力による、煙の充満した部屋からの避難訓練や起震車を使った大きな揺れの体験なども行われ、防災の日を前に、災害時に身を守る



方法や避難所生活で他人を思いやり、自分にできることを自ら考え実行する力を身につけることができました。

児童生徒体験教室

7月22日(月)～25日(木)、ふだんは教職員が利用している教育センターを児童・生徒に開放し、体験をとおして教科への興味や関心を高める児童生徒体験が行われました。社会、理科、英語、算数の教科には、200名を超える小学生が参加。小・中学校の先生方が講師を務め、工夫された教材に、多くの児童がそれぞれの教科への関心をより深める機会となりました。

また、中学2年生を対象に行われた救命講習には約60名の参加があり、消防署員を講師に、心肺蘇生法やAEDの使い方などを学習しました。生徒たちは、「いざという時には、人の命を助ける行動をしたい」と、救命に対する真摯な気持ちを養うことができました。



宇宙や天体に興味のある人、集まれー！

8月23日(金)／コスミックカレッジ(産業労働センター)

JAXAの協力を得て開催されました。講師からロケットの話聞いた後に「傘袋ロケット」作り。工夫した個性的なロケットは、無事に初飛行を終えました。



太陽の光がまぶしい 夏本番！

8月17日(土)～25日(日)／ほりかねのひまわり畑(堀兼地区)



堀兼小・中学校の児童と生徒や地域住民が種をまき、育ててきたひまわりが咲きそろいました。訪れた人は、暑い中、迷路や花の摘み取りを楽しみました。

狭山の今昔物語 Vol.30 — 柳橋(青柳) —

草刈街道に架かるこの橋をなぜ「柳橋」というのかは、判然としていません。「狭山市史・地誌編」に「柳橋という橋のあることから、往昔は柳が繁茂していたことが想像される」とあり、柳が自然繁茂していたため「青柳」の地名が生まれ、川に架かる橋も「柳橋」になったともいえます。



以前の柳橋。橋の向こう側に柳の木が見えます(昭和44年)

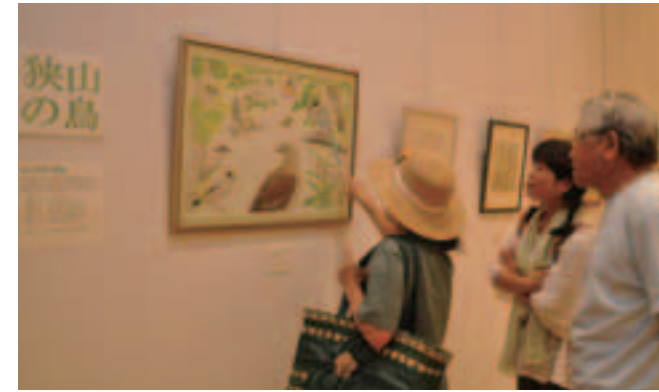


平成20年に道路の形状などが改良され安全な交差点になりました

狭山の鳥と世界の鳥・野鳥原画54点

8月19日(月)～25日(日)／野鳥画家谷口高司作品展 (市民交流センター)

野鳥イラストレーターとして国内外で活躍する谷口高司さんの作品展「狭山の四季に集う野鳥原画展」が催され、羽根の1枚1枚まで精細に描かれた野鳥の姿が来場者を魅了していました。



参加者が描いたカワセミ

初日と最終日のワークショップでは谷口さんが直接指導

10月には「子ども大学さやま」も新規開校

8月31日(土)／子ども大学さやま・いるま(博物館)

今年度3回目となる講義は、音の聞こえる仕組み。パイオニア(株)の方を講師に迎え、実際に紙皿を使ってスピーカーを作ってみました。でき上がったスピーカーは手のひらほどの大きさですが、アンプにつなぐときれいな音が聞こえてきました。



手のひらに伝わる振動で「音」を感じ、耳で聞く



あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

次回は11月に開催予定です

8月7日(水)／朝市・オープンカフェ (富士見の家)

「ささえあい狭山」の会員が主催する朝市が10時にオープン。新鮮野菜や手打ちそば、手作り品などが並び、カフェでは、コーヒー片手におしゃべりに花が咲きました。顔を合わせた人は、「暑いけど大丈夫？」と互いを気遣い、思いやりのある会話が聞かれました。



開店前から列ができ、朝摘みブルーベリーは5分で完売

自分の責任で自由に遊ぶプレーパーク

8月24日(土)～31日(土)／ほんきっこ2013夏(狭山台中央公園)

「本気であそぶ子☆応援団」が主催するほんきっこが8日連続で開催されました。ロープなど遊具はシンプルですが、木や土、水、そして火を利用し、責任感と自主性を持って思いっきり遊びました。自然を知り危険を知る中で、子ども達の発想が広がります。



ロープをしっかりと握り、ゆらしたり、登ったり